

# 湛水直播管理情報 (第3号)

～ 湛水土中直播(カルパー) ～

平成27年6月5日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

コシヒカリ湛水直播 生育調査は調査結果

	播種日	苗立本数 (本/㎡)	5月27日		
			草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (葉)
H27アルプス平均	4/29	87.3	23.0	242	4.7
H26アルプス平均	4/30	76.1	14.8	92	3.5
近年(アルプスH20~26)	4/30	65.5	17.2	99	3.5

苗立ちは、近年より全般的に多くなりました。  
近年に比べ、草丈は長く、茎数は多く、葉齢は進んでいます。  
今後は急激に茎数が増加しますので、『中干し』は早めに行いましょう。また、「葉いもち防除」は遅れないように、計画的な作業に努めましょう。

## 1 水管理

### (1) 溝掘り

- ・中干しに入る前に「溝掘り」を行いましょ。
- ・10～15条に1本の間隔で溝掘りを実施することで、中干しの効果が高まります。

### (2) 中干し

稲体と根の健全化を図るために、適期に「中干し」を開始しましょう。

#### ① 中干し開始時期

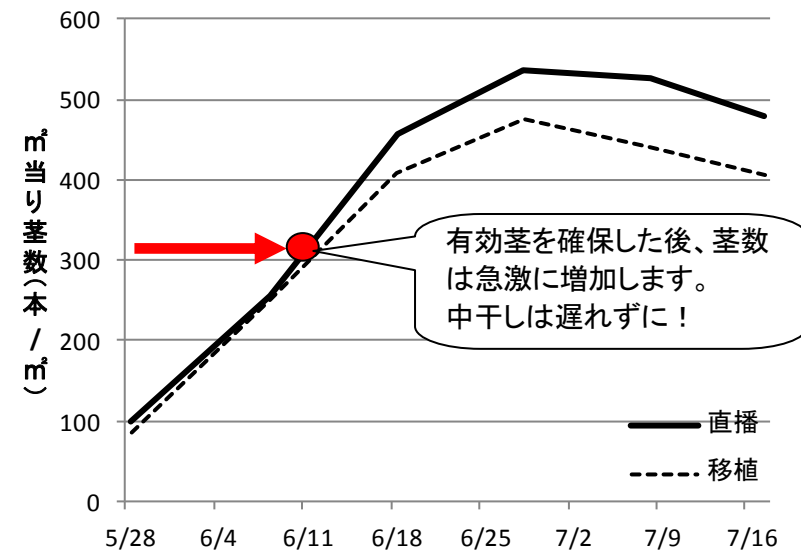
播種時期	中干し開始時期の目安	
4月下旬～ 5月上旬	茎数320本/㎡ (1m当たり茎数100本程度)	6月10日頃

#### ② 中干しの程度

土の表面に小さなヒビ割れができる程度(3～5日間)とし、  
極端に強い「中干し」は避けてください。

#### ③ 中干し後の水管理

中干し後から幼穂形成期まで**間断かん水**、  
幼穂形成期から出穂期まで**飽水管理**を行いましょ。



直播と移植の㎡当り茎数の推移の比較  
(直播:H20~26、移植:H17~H26)

## 2 葉いもちの防除 【直播の基本防除】

◆移植と違い苗箱施薬をしていないので必ず施用して下さい。

(1) 防除時期 6月15日～20日

(2) 薬剤及び散布量

薬剤名	対象病害虫	10a 当たり散布量	使用上の注意点
オリゼメート1キロ粒剤	いもち病	1 kg	・田に水をためて散布し、散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しない。 ・湛水状態で散布する除草剤との併用も可能です。
パダンオリゼメート粒剤	いもち病・ニカメイチュウ	3 kg	

## 3 後期除草剤の散布

雑草が残っている場合は、雑草の種類と葉令を確認し、適期に散布して下さい。

発生草種	除草剤名	使用時期	適用土壌	10a当たり使用量	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後25日以降 ノビエ4葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	砂壤土 ～ 埴土	1.5kg	・散布時に5cm程度の深水とし、散布5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は使用をさける。
	クリンチャーEW	ノビエ5葉期まで (ただし、収穫30日前まで)		100ml 希釈水量 25～100ℓ	・落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう展着剤を加用し、散布する。 ・晴天日を選んで散布する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫50日前まで)		1000ml(500cc×2本) 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・晴天日を選んで散布する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ、クサネム	サンパンチ 1キロ粒剤	稲3葉期～ノビエ3.5葉期 (ただし、収穫60日前まで)		1kg	・散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は使用をさける。
マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、 オモダカ	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)		500～700ml 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は落水状態を保つ。 ・晴天日を選んで散布する。